

代表質問 新清流



## 市長選挙公約実現に向けた現状は

### 市長／夢と希望のまちづくりに邁進



あべ まさみつ 議員 阿部 貞光

**議員** 令和4年度当初予算に小学校25人学級が予算措置されているが、公約実現に向けた現状を聞く。公約には子どもや若者が夢・希望を持てる事業がないと考えるが市長の見解を聞く。



子どもや若者が、夢と希望に満ち溢れるまちづくりを

**市長** 令和4年度から総合計画実施計画で公約に係る事業は、25人学級の実施を含めた12事業で、当初予算に計上し実施する。令和5年度から実施を予定している事業は、学校給食費無料化事業を含め6事業となる。指摘については市民の声をしっかりと聞き子どもや若者が、夢と希望に満ち溢れるまちづくりに邁進する。

**議員** 市民に公約実現の現

状を示すべきでは。

**市長** 広報誌・ホームページなどでお知らせする。

**議員** 地方交付税が一本算定となり減額されると説明を受けている。地方交付税は見込み通りか。民間事業者を参考にした歳入確保事業に取り組んではどうか。

**市長** 地方交付税は毎年12月末に示される国の地方財政計画に影響を受ける。人口の減少が見込まれることから交付額も横ばいまたは減少傾向にあると推測している。有料広告による収入確保やふるさと納税に加え、企業版ふるさと納税も積極的に推進を図っている。さらに寄付金の使い道を具体的にプロジェクト化し、寄付を募るガバメントクラウドファンディングも今年度に取り組む。今後は公共施設などにおけるネーミングライツの導入などを含め、収入確保策を幅広く検討していく。

代表質問 政策フォーラム



## 急げヤングケアラーの対応

### 市長／介護、教育など連携し適切に支援



いしかわ しゅうじゅん 議員 石川 正運



社会問題となっているヤングケアラー／3月9日・河北新報

**議員** 市内でヤングケアラーが疑われる人数は6世帯11人となっている。包括的な支援で、重い責任を子どもに負わせない社会を構築すべきではないか。

**市長** 子どもの年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことがないよう、福祉、介護、医療、教育など連携し適切な支援につなげていくことが重要である。

**議員** 市長の目指す農業、

商業、工業とは何か。  
**市長** 業者の高齢化や後継者不足が課題となっている。農業の持続性の確保に向け、家族農業や農業経営体の育成を支援し、農村、農業の所得増大の施策を推進していく。

商店の事業継承に向け研修、資格取得、販路拡大などの補助金を予算措置した。さらに地域通貨事業導入により地元商店で利用したお金が循環し地域経済の活性化につなげていく。

高速交通体系の優位性を活かして産業分野の絞りこみ、企業ニーズを見極め、積極的な企業誘致活動に取り組んでいく。

**議員** 宮野地区、瀬峰駅前周辺の水害対策をどうするのか。

**市長** 宮野地区では県で、堤防整備や樋門改修を実施。市は、排水路整備や水田の持つ貯水機能を活かした田んぼダムを検討していく。

また、瀬峰駅前排水対策は、JR軌道敷を横断する管渠の土砂を撤去した。五輪堂山公園線東側排水溝を高い位置に増設して対応する。





たかはし わたる 議員 高橋 渉

代表質問 市民くりはら



## 均衡のとれた財政運営を望む

### 市長／計画的かつ戦略的に取り組む

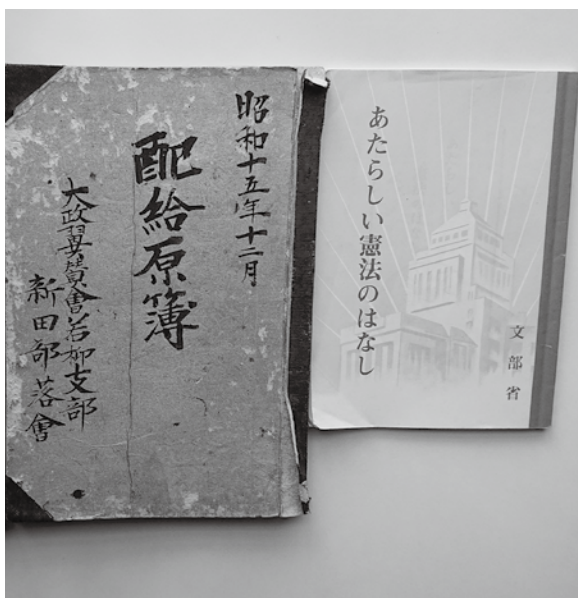


メリハリのある財政運営を

**議員** 財政再建を重要施策の一つと位置づけている。財政逼迫の原因を精査し、今後の歳出を考えるべきである。歳出の主たるものは公共事業などの事業費であり、建物の新築や改築は維持管理費が発生する。未利用の市有財産の維持管理費も財政悪化の要因であり、その上、重荷になっているのが再三指摘されている第三セクターの赤字経営である。この状態をいつまで続

けるのか。早急に見直しをすべきである。歳出見直しの一方、自主財源の確保が急務であり、その一つとして未利用市有財産の処分を急ぐべきであるし、他の方策も考えるべきである。いずれにしろ、各種の事業をしっかりと精査し、何を残し何を削るのか、メリハリのある財政運営を望むものである。

**市長** 合併特例の段階的削減による普通交付税の減少や人口減少などの影響により歳入が伸び悩んでいる。社会保障関連費や公共施設の老朽化による維持管理費など経常経費が増加したことに伴い、財政調整基金からの繰り入れで残高が年々減少し、厳しい財政運営になっている。第三セクターについては厳しい経営状況が続いているが、3社の合併による経営統合を検討している。歳入の確保については企業誘致や移住・定住などの施策を行うことで安定的な自主財源の確保に取り組む。未利用の市有財産の売却、有料広告の収入ふるさと納税の積極的な推進を図る。



昭和22年5月3日民主主義国日本へ船出

昭和22年5月3日民主主義国日本へ船出

代表質問 日本共産党栗原市議員



すがわら ゆうき 議員 菅原 勇喜



## 憲法を暮らしに生かす政治を

### 市長／根幹の理念は変えるべきでない

**議員** ①日本国憲法には、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の3つの原則がある。戦後76年間この憲法の下日本はこの国とも戦争をせず、そのことによって急速な戦後の復旧・復

興を成し遂げ、民主主義国日本をつくりあげてきた。市長は世界に冠たる第9条を含む日本国憲法を擁護する立場を明快にされるよう見解を求める。

②国民の税金を政党に配分する政党助成金は、思想信条の自由や政党支持の自由を踏みにじる憲法違反の制度だと考える。制度創設から2021年までの27年間で、政党助成金総額は約8460億円にも上る。日本共産党は制度の創設に反対し、一貫して政党助成金の受け取りを拒否し、同時に制度廃止を主張している。市長の政党助成法について見解を求める。

**市長** ①三原則は、世界でも規範となり得るものである。細部の改正については、多角的な視点で多くの国民が参加して議論されるべきと考えるが、その際にも現憲法の根幹となる理念については絶対に変えるべきでないと考えている。

②存続や廃止については、国会において議論すべきものと考える。他にオミクロン株緊急対策、女川原発事故避難計画と市内受け入れ施設について、ALPS処理水（汚染水）安全チラシ配布問題、仮屋排水機関場分担金の廃止を求め、くりこま高原駅前駐車場管理業務について質問した。



## 土地など名義変更義務化、過料も

### 市長／法改正、令和5年4月から施行



たかし かつお 高橋 勝男 議員

**議員** 国では、所有者不明土地の解消に向け法改正が行われたが、市民への影響は。

**市長** 相続登記は任意だったが、令和6年度からは、「その所有権を取得したこ

とを知った日から3年以内」に登記をする必要があると共に、法施行前に相続が発生しているものも対象とされ、違反した場合は10万円以下の過料となる。

また、令和5年度からは相続などで取得した土地を国に帰属させることができ、制度も創設されたが、法務大臣の承認と10年分の土地管理費相当額を負担する必要がある。

また、令和5年度からは相続などで取得した土地を国に帰属させることができ、制度も創設されたが、法務大臣の承認と10年分の土地管理費相当額を負担する必要がある。

**議員** 市の所有者不明土地はどの程度か。また今後の課題は。

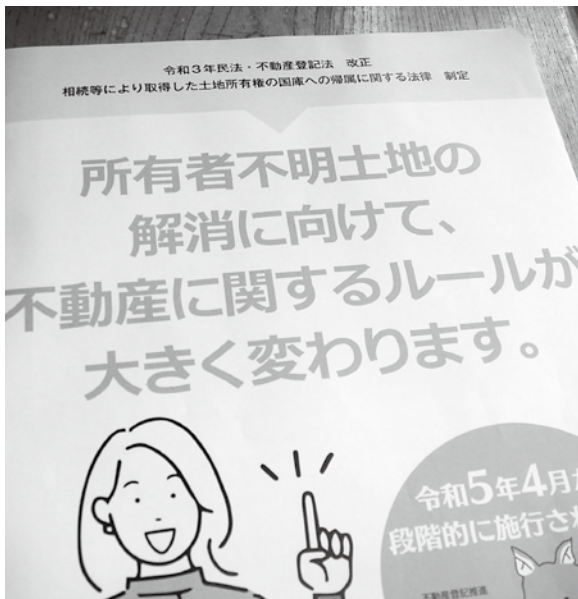
**市長** 令和3年度では、204件で109軒になる。また、今後は相続が発生した場合に備え、資産の所有状況や誰が相続、管理を行うのか関係者間で協議しておくことが大切である。

**議員** 令和5年度から導入予定の地域通貨と電子商品券とは。

**市長** 市外に出るお金を減らし、地元の商店や飲食店などを応援する「地域通貨」に取り組み。地域通貨は電子商品券のほか、市からの給付金や祝い金、公共料金の支払いにも利用できる。

**議員** 令和5年度からの小・中学校給食費無料化との関係は。

**市長** これまで同様に給食費は負担いただき、給食費相当額を市内で使用する地域通貨で保護者に還元することを考えている。



法務省発行パンフレット

## 地域医療体制を考える

### 市長／今後も診療継続を期待する



そうま かつよし 相馬 勝義 議員



地域住民から移転の要望がある「萩野診療所」

**議員** 地域住民から、萩野診療所の移転などに関する要望書も提出されていると聞く。地域を無医師・無医療にしてはならないと思うが。

**市長** 診療所の先生には市医師会副会長として貢献してもらっている。診療所は市で賃貸しているため、各種修繕も実施しており、地域の区長からも要望を受けていることから、島田先生には今後も診療を続けてもらうことを期待している。

**議員** 民間活用により進めることだが、構想計画ほどの程度進んでいるのか。

**市長** 魅力ある交流の場の創出と移住促進の住環境を創出するため、第2次市総合計画実施計画において、令和5年度から、くりこま高原駅周辺の開発可能性について基礎調査を行う予定。この調査により、生活インフラの状況などを確認するとともに、区画整理事業の検討やPFI方式など、民間活用導入のための意向調査を行う予定で、詳細は令和4年度に検討する。

**議員** 合併以来、高原駅周辺の整備・開発がなかなか進まないことに対して残念だとの声が聞かれる。地権者との話し合いや説明は持っているのか。

**市長** 駅周辺に係る意見交換は平成31年に行っている。土地所有者8名が参加し、農業振興地域内の農用地区域からの除外要件に関することや、人口減少対策として早期に計画を進めてほしいなどの意見があった。



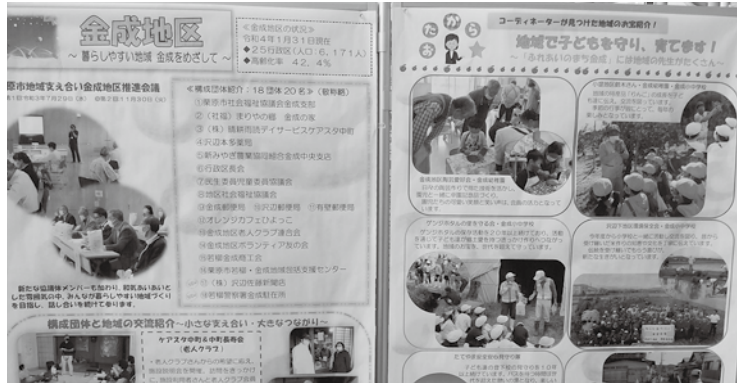


さわべ 幸浩 議員



## 高齢者への自立生活支援の確立を

### 市長／市民の健康増進や介護予防を図る



地域支えあい事例発表展示会

**議員** 市においては、高齢化率の人口割合が40%を超える事態となっている。今後は、医療や介護に頼らずに、高齢者が安心して暮らせる地域社会を構築することが重要な課題といえる。市が目指す地域共生社会において、高齢者の尊厳の保持と自立支援を確立させるために、何が重要だと思われるか。

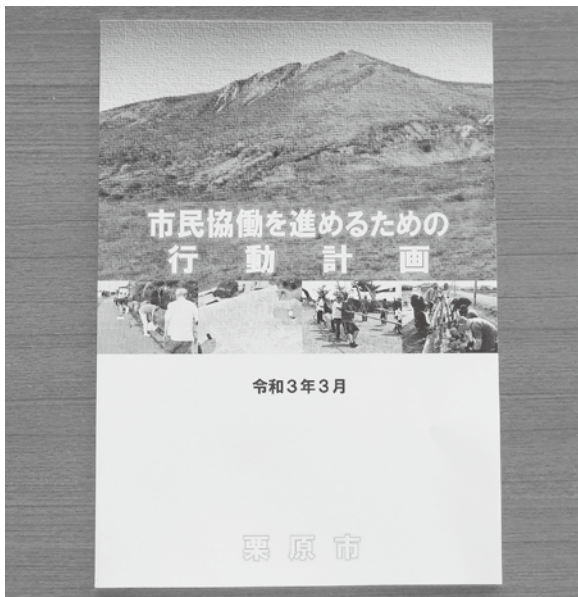
**市長** 高齢者の生きがいの充実と介護予防のために、集いの場を通じた社会参加を促すと共に、関係者が自宅を訪問し、困りごとの相談や必要に応じて関係機関に繋ぐなど、高齢者を地域全体で支え合う地域づくりの支援に取り組んでいく。

**議員** 市が進める、「自助・共助・公助」に「近助」を加えた、コミュニティ活性化の支援が推進されているが、地域コミュニティが衰退する中で、自治会などの活動組織を超えた、上部組織としての、拡大したコミュニティ支援組織が必要と思われるがどうか。

**市長** 地域コミュニティの推進強化については、コミュニティ推進協議会がある。地域の課題解決を支援する組織であり、設立に向けて推進協議会の設立マニュアルを活用して、地域の状況に応じた支援を行う。

**議員** バス交通機関の停留所において、生活拠点から外れていて、見直しが必要な既存のバス停留所があるのではないか。

**市長** バス停留所は、利用者の要望や危険個所の移設など、毎年必要に応じて見直しを行っている。



市民協働を進めるための行動計画

**議員** 花山の小さな拠点づくりは高齢者の足をデマンド交通で確保、また買い物では移動販売車を出す、さらに空き家片づけ隊が移住定住者の受け皿となり、空き家に移住者が増えた。これをモデル事業とし、他地区に横展開してほしい。

**市長** 他地域での展開は、「市民協働を進めるための行動計画」で取り組み、コミュニティを大切に、市民が自ら行うまちづくりに向けて支援していく。

**議員** 子育て支援 No.1を目指せ

**議員** 若者定住こそ栗原市最大の福祉と考える。他自治体

**議員** 出生祝い金は総合計画後期基本計画期間中の拡充を考えている。その他は現行制度で継続するが、今後提言を参考にしたい。

**市長** 出生祝い金は総合計画後期基本計画期間中の拡充を考えている。その他は現行制度で継続するが、今後提言を参考にしたい。

**議員** 日本語学校を誘致せよ

**議員** 県は公的機関が関与する日本語学校を県内に誘致したいと発表した。市に誘致されるなら、地域活性化に大いに資すると思われるが市長の見解は。

**市長** 今後、県の動向を注視していきたい。

## 市長／小さな拠点づくりを支援したい

### 持続可能で美しい農村の創造へ



## 障がい者雇用など定員管理適切か

### 市長／第4次定員適正化計画を策定する



さとう 市長  
さとう 議員  
佐藤 悟

**議員** ①市職員の定年退職者②新規採用者③障がい者雇用④女性管理職登用など定員管理、⑤心身のケアなどは、適切に行われているか。

**市長** ①3年度末23人②3

年度52人、4年度25人③3年度1人採用、4年度3人予定するも合格者なし、試験を継続し取り組む。今年度中に第4次定員適正化計画を策定する。④205人のうち59人、男女を問わず総合的に判断し登用する。⑤AIやRPAなどの導入を進め、業務の軽減を図ると共に、メンタルヘルス研修、ストレスチェックなど職場環境改善に努めていく。



やさしさに満ちたまちづくりに努力を

**議員** 健やかな子育てには待機児童の解消が求められる。保護者とのミスマッチの要因と解消策はどう考えているか。

**市長** 待機児童数は令和3年4月1日現在5人。空きのある公立保育所や小規模保育所を案内し、入所できるよう対応している。居住地近くの保育所への入所希望者が多いことから保護者の意向も確認しながら解消に努めている。

**議員** コロナ禍で、救急救命活動体制は十分か。一般救急搬送に支障は生じていないか。

**市長** 救急出動件数は、令和3年3336件、救急搬送は3161人で、そのうち2445人を市内医療機関に搬送。救急車は各署所に1台ずつ配備で計6台保有。救急救命士は42人に対応。市内医療機関の協力により、大きな支障は生じていない。

## 学校補助員の勤務条件変更必要か

### 市長／教育委員会の判断を尊重し進める



ひろし 議員  
きくち 菊地



学校行事での様子

現場の補助員給与カットで賄うのかも取れるが。

**教育長** 公約は政策的なものであり、教育部全体の業務の見直しとは別である。

**議員** 補助員は教育現場で一番弱い立場の方々だ。それを守るのが教育現場のトップの教育長だと思いが。

**教育長** 学校補助員への配慮は、日頃の声掛けなどで常に気に掛けている。

**議員** 市長が掲げる学習支援の充実を図るとは真逆の対応だと思いが、これまでの条件での雇用は難しいか。

**市長** 補助員がいなければ学校経営ができないわけではない。あくまで補助員は補助だ。運用がうまくいかない場合は状況を見て対応。

## 若柳病院の機能設備改善を

**議員** 待合室の呼出し用モニターを増設して、自動精算機を導入してどうか。

**病院管理者** 若柳病院の現状では、モニターの増設より案内係を置くとか、自動精算機ではなくPOSレジで対応を検討したい。

他に、くりはら遺産認定委員会の現状を質問した。

**議員** 環境変化で、今以上に学校補助員を必要とする子どもや学校が多い中で、学校補助員の勤務体制や勤務時間の見直し、賃金待遇の見直しを行うのはなぜか。

**教育長** 教育部内の業務の見直しの中で、時間短縮をしても同じ活動が可能ではないかとの検討の結果、1時間減らし時間給にした。

**議員** 市長の公約の25人学級のコス採用教員の給与算部分の補填に、同じ教育





黒岩 一孝 議員



## 「栗原市都市計画」について

### 市長／交流機能の充実で活性化を図る



防獣用ワイヤーメッシュの設置作業

地域は活性化すると思うが見解を聞く。

**市長** 例えば栗駒地区では地域の中心地である岩ヶ崎地区への都市機能の集積と向上、交流機能の充実などを目標としていることから地域の活性化が図られる。

**議員** 旧栗駒駅跡地に住宅の建設を望むが市長の見解を聞く。

**市長** 駐車場として近隣住民に4台分を貸し付けている。今後も現状のまま、開発はしない。

### 鳥獣被害対策について

**議員** 鳥獣被害は今後、平野部まで被害が拡大するところが心配される。地域全体で取り組むべきと思うが見解を聞く。

**市長** この事業は集落の多くの意見を集約することで、全体の被害防止対策が可能になることから、集落の意向を確認しながら、事業を活用いただけるよう協議する。三迫川の河川敷の立木やヨシの除去については、県に対し今後も引き続き要望していく。

**議員** 規模が小さくとも、人・物が集積すれば、その

**議員** 都市計画マスタープランで、コンパクトシティプラスネットワークを指すところがあるが、中山間地域の過疎化にますます拍車がかかると思うが見解を聞く。  
**市長** 市内の各地域を利便性の高い公共交通で結ぶまちづくりを目指すものであり、住民を単純に市の中心地域へ集約させる目的ではない。



## これからの有害鳥獣対策は

### 市長／県のモデル事業を実施している



米三浦 善浩 市長

**議員** 市議会は、鳥獣被害対策をテーマに議員研修会を行った。①イノシシ対策

では、地域における正しい情報と知識の共有が必要であることから、情報提供の頻度を増すことや被害地域



金成地区で目撃したイノシシ

を対象とした学習会の開催や講師を招いての指導者・リーダー研修会などをしては。②クマ対策として、クマ目撃情報の多い地域などを対象として、クマを誘う柿や栗、クルミの木の伐採や枝切りに補助をする制度を導入しては。

**市長** ①イノシシ対策の情報提供や市民の方々を対象とした学習の場などを設定していく。②国の協議を見

極めながら検討していく。

### どうする コロナ後の栗原

**議員** ①期間を限定した、くりこま高原駅とイベント会場などの連絡バスを運行しては。(くりでんミュージアム、ハス祭りなど)

②「ねじりほんによ」の後継のマスケットキャラクターを誕生させて新たな発信をしては。③免許返納者に対して、乗合デマンド交通の利用者登録の初回登録料を免除しては。④市役所の各課や部署が、SDGsのどのゴールと結びつく業務をしているか、アイコンを各課などに表示しては。

**市長** ①民間事業者が主体となるべきだが、今後必要性や可能性を検討する。②「ねじりほんによ」について、分かりやすく説明していく。③運行事業者と協議をしていく。④より効果的な手法を検討していく。

③運行事業者と協議をしていく。④より効果的な手法を検討していく。



## カラス対策はどうなっているのか

### 市長／現在の対策を継続、他対策も検討



すがわら 麻紀 議員

#### 市内の環境整備把握状況は

**議員** カラスの被害に対して対策は何をしているか。  
**市長** 電柱や鉄塔に巣を作った場合は県の許可を受け



暗くなると集団で移動するカラス

東北電力、NTTとも独自に駆除していて、県から市に情報提供されている。  
**議員** 鳥獣にとつて住みやすい環境になっていないか。

**市長** 休耕田は毎年パトロールし意向調査を行い、土地所有者に今後どうするかを聞き改善してもらおうよう通知している。

**議員** 環境整備の対策をどのように考えているのか。  
**市長** 各総合支所を通して

状況把握し、問題解決に向けて地域と協議しながら対応している。何かいい方法を検討したい。

#### 病院の存続と経営について

**議員** 栗駒、若柳病院の存続は。この先統廃合はあるのか。

**病院管理者** 地域を守り安心して暮らせるよう経営健全化を図りながら継続していく統廃合の計画はない。

**議員** 厚生労働省の指摘に対して改善したところは。

**病院管理者** 病床数適正化を検討し、令和3年4月から見直しを行った。

**議員** 赤字経営といわれるが現状はどうか。改善する要素はあるのか。

**病院管理者** 依然として厳しい状況である。経費削減にも取り組んでおり、今後は機能分化や連携強化を図ると共に、経営改善に向けて積極的に取り組む。

## きめ細かな除雪対応をすべき

### 市長／ご近所助け愛交付金を活用する



おの きゆういち 議員



高齢者のみの世帯で門口も除雪できない（文字地区）

るという考えか。  
また、小学校からの帰りに歩道が除雪されておらず、恐かったが車道を歩いてきたと訴えられた。歩道の除雪はなされているか。

**市長** 作業の受け皿である「シルバー人材センター」では、年々登録者が減少しており、急な積雪時の依頼にこたえられない。事業全体から見た除雪依頼の割合が低いことから、除雪券の発行はしていない。

今後は「ご近所助け愛交付金事業」を推進し地域の皆さんで除雪してもらう共助の精神でお願いしたい。

歩道除雪については通学路、病院周辺の歩道を中心に62路線長と73キロを行い、地域から要望があったときには迅速に対応するよう努めている。

**議員** 有鳥獣処理施設の候補地選定と処理能力は。また、令和4年度の防護柵設置事業の申請状況は。

**市長** 施設候補地は市有地を中心に検討しており、年間420頭ほど処理可能な施設を考えている。ワイヤーメッシュ柵設置は、高清水地区の2か所を申請した。

**議員** 高齢者世帯は、「門口の除雪もできずにゴミ出しにも行けない、バス道路に出るのも大変です」と訴えられた。このような時は自助・共助・公助・近助のどこを頼ればよいか。これまでの市長答弁は互いに支えあう自助・共助・近助の精神で自主的な除雪作業をということだが、うまくいっているか。

除雪券を発行することは住民サービスに不公平が出る





みつおか 三塚 議員



## 拡充せよデマンド初乗り助成

### 市長／利用者のアンケート調査も参考



初乗り助成 680 円を実験中

**議員** 令和3年11月より鶯沢地区で、デマンド交通の登録者を対象に栗駒地区デマンド交通の拠点まで、タクシー初乗り料金680円の月4回分を助成する実証実験が行われている。これまでの実績と効果はどうなっているのか。

**市長** 令和3年11月は登録者40人に対して利用者は10人で23枚を利用。12月は登録者41人に対して利用者は10人で25枚を利用。令和4

年1月は登録者は40人に対して利用者8人で21枚の利用となっている。

実施から3か月と日が浅く、効果の検証に至っていないが、新型コロナウイルス感染症の影響が利用の伸び悩みの一因と捉えている。

**議員** 実証実験の検証を踏まえた改善は必要だが、地域に適したデマンド交通の改善に向けた取り組みをどう捉えているのか。

**市長** 鶯沢地区でのタクシー利用の助成事業は開始から期間が短く、効果を検証するに至っていないことから、3月末をめどに利用者を対象にアンケート調査を実施する。

なお、鶯沢地区でのタクシー利用の助成事業は、令和4年度も続け、利用者の需要や利便性、タクシー事業への影響などを確認しながら取り組んでいく。

**議員** 令和4年度もタクシー利用の助成事業は、月4回とするのか。

**市長** 月4回の利用状況がどうなっているか。また、アンケート調査による利用者の意見を聞きながら進めていきたい。



## 看護師の処遇改善を国へ要望せよ

### 市長／市長会などと連携して要望



たかはし すすむ 議員

および4つの診療所は対象外となる。発熱外来などコロナ対応において一定の役割を担っている医療機関を対象外とする現在の制度に課題が見受けられる。

**市長** ②市長会、自治体病院協議会の中で連携しながら要望していく。

**議員** ①国施策である看護師などの処遇改善における課題はあるか。②国へ見直し要望すべきだがどうか。

**病院管理者** ①対象となる医療機関は栗原中央病院、若柳病院となり、栗駒病院



現行のままでは処遇改善の対象とならない栗駒病院

**議員** 結婚に伴う新居の家賃や引越し費用などを支援する国の補助策がある。すでに実施している若者定住促進助成事業に追加し、若者の結婚に伴う新生活を支援してはどうか。

**市長** 現状の支援策より金額的に手厚い措置となる。制度設計可能か検討する。

他に地域おこし協力隊の活動費について質問した。

**市長** ②市内でも感染者が増えている状況だ。今後は全額返金としたい。

**議員** ①早急に統一するよう調整を図っていく。

例があるため利用規約が一律でない状況。統一された条例規則改正を求める。②新型コロナウイルス感染症対策として急遽、予約取消することも予想され、それに伴うキャンセル代はなくすべき。





## 栗原のまちづくり課題を問う

### 市長／情報共有して取り組み



さきよしろう 議員  
さき 市長

体的に示せ。

**市長** この区域外での一定要件の住宅の建築や開発行為は事前に市への届出義務が発生する。区域内への建築を誘導する。移住者や転入者を想定している。区域は本庁舎周辺、宮野と若柳川北川南の4か所である。

**議員** 市の人口は2015年の6万9906人から45年は3万7498人と推計。国は補助金を出すから立地適正化計画を策定するよう促した。その中で居住誘導区域を定めるとあるが、具

**議員** 居住誘導区域の人口は7900人で、周辺の人

**市長** お年寄りが行きたいときに行けるタクシー助成事業も将来は考えたい。

**議員** 次に教育施策で聞きたい。本市の不登校、いじめなどどうなっているか。

**教育長** 不登校は小学校11人、中学校67人、いじめは小学校25人、中学校24人。

**議員** 学府くりはら、人づくりこそまちづくりを標榜している栗原市。この子どもたちが栗原を支えてくれるような教育を望みたい。

**教育長** しっかりと教育に取り組む。



市の中心部を上空から見る

## 民生委員の活動補助金を聞く

### 市長／各地区協議会の活動や運営の違い



さとう ふみお 議員  
さとう 市長



民生委員は高齢者の相談も

の活動費、研修費、会議費、事務費などとなっているが、栗原市は10地区民児協ごとに民生委員への交付額が異なっている。各地区民生委員協議会ごとに本人への交付額はいくらか。また、協議会ごとに違うのはなぜか。

**市長** 築館、栗駒、鶯沢地区は2万4000円、瀬峰地区は2万5000円、金成地区は4万8000円、志波姫地区は1万2000円、花山地区は4万2000円で、若柳、高清水、一迫地区は本人への交付はない。地区協議会ごとに違うのは、活動内容や運営方法がそれぞれ異なっていることから本人への交付が異なる。

**議員** 民生委員の活動目的は同じ、どうして統一できないのか。

**市長** 合併時、市全体の協議会のあり方を相談したこともあったが、それぞれ独自の活動をしているので、これまで通りの各地区の活動が市民のためになるという意見を尊重し現在に至っている。

他に市民に寄り添った優しい行政サービスについて質問した。